

2022年 12月 9日

安心・安全で平等な保育を  
すべての家庭・子どもに提供するための請願

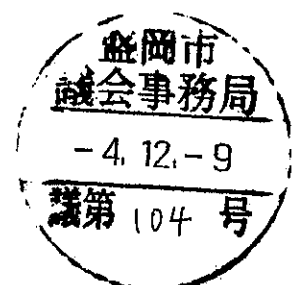
<紹介議員>

甲 林 亨

神部 伸也

鈴木 俊和

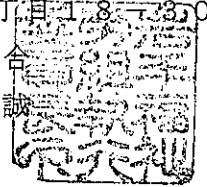
請願第 15 号



2022年 12月 9日

盛岡市議会  
議長 竹田 浩久 殿

請願団体 岩手県盛岡市本町通三丁目18-30  
岩手県社会福祉労働組合  
執行委員長 藤村 誠



## 安心・安全で平等な保育を すべての家庭・子どもに提供するための請願

### 【請願趣旨】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、福祉保育職の重要性が世間に改めて認識されたと同時に、その過密な労働内容や劣悪な処遇が注目されています。

元々保育士は、慢性的な人手不足が全国的にも問題となっており、盛岡市内でも保育士確保事業に着手し、若手保育士の経済的支援や潜在保育士への働きかけなど、様々な対策がなされてきました。また、今年2月に国が行った、保育士の9000円賃上げ事業などもあり、保育士の働く環境や処遇について、少しずつ改善の傾向が見られ始めています。

しかし、保育現場からは、「元々安い賃金だったのに、9000円上がった程度では、物価高の影響もあって賃上げの実感がない」「こどもの命を預かっているのに、見合った金額ではない」という声があふれており、保育士の離職・人手不足に歯止めがかかっていないのが現状です。

更に、今年9月に起きた山王保育園の廃園に関わる問題は、盛岡市の子どもを持つ家庭にとって、継続的な保育の危機を感じる、大きな衝撃を与えました。全国的にも「子どもの置き去り事故」「虐待」などの報道が急増する中、家庭が保育所に求める安心・安全に対する視線がより強まっており、現場保育士にかかるプレッシャーは計り知れず、もはや本人たちの頑張りだけでは到底解決できない、限界まで来ています。

盛岡市の地域活性のために、子育て世代の支援拡充は必要不可欠であり、働く世代を支援し、子どもの健全な育成を保障する安定的な保育体制の強化が、早急に必要となっています。

子どもは地域の宝であり、子ども達が安全に健やかに成長できる環境を整えるためには、家庭や関係機関だけではなく、自治体・県・国も一体となって、取り組むことが不可欠です。

以上の点を踏まえ、貴議会に下記の事項について請願いたします。

## 【請願事項】

一、すべての家庭・子どもに平等な保育を提供するため、下記の支援・事業について見直し、改正を行うこと。

- ①保育体制強化事業について、令和 5 年度の予算を拡充し、希望するすべての保育所が制度を利用できるようにすること。
- ②盛岡市エネルギーサポート給付金について、事業者単位ではなく、園・運営施設単位での受給審査とすること。
- ③3 歳児以降の保育料無償と同様に、0.1.2 歳児の保育料について、無償とすること。

二、安心・安全な保育を、すべての家庭・子どもに保障できる体制を作ること。

1.以下について盛岡市として早期検討し、対応すること。

- ①現在盛岡市が目指している全園民営化の計画を見直し、公立保育所を増やし、民間保育所の緊急時や災害時にも、臨機応変に対応できる保育提供体制を確保すること。
- ②現在国が実施している「保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業」に、盛岡市として手を上げること。

2.以下について、長期的なビジョンを持った計画を立て、実行する事。また、国・県の改善が必要な事項については、盛岡市として改善を求める意見をあげること。

- ①盛岡市独自の保育士配置基準を設け、将来的に 0 歳児 2 人：保育士 1 人、1～2 歳児 4 人：保育士 1 人、3 歳児 15 人：保育士 1 人、4～5 歳児 20 人：保育士 1 人の体制を取れるよう、段階的に制度見直しを行うこと。
- ②保育士確保対策について、5 年目までの若手に限定した支援ではなく、長く保育士を続けるための継続的・安定的な支援を受けられるよう、内容を改善すること。